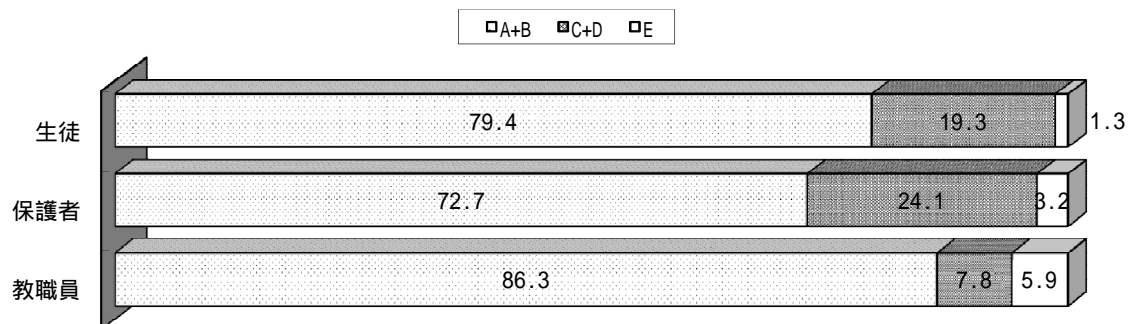


7. 学校の通知表について

生徒 通知表の学習成績のつけ方は、納得できる。

保護者 通知表は、子どもの学力や学習の状況を適切に評価できるように工夫されている。

教職員 この学校の通知表は、生徒・保護者にわかりやすく、適切な評価が行われている。



〔分析〕

生徒、保護者ともに通知表について肯定的な回答が増加(平成19年度と比べると、生徒 + 8.3ポイント、保護者 + 16.6ポイント)している。

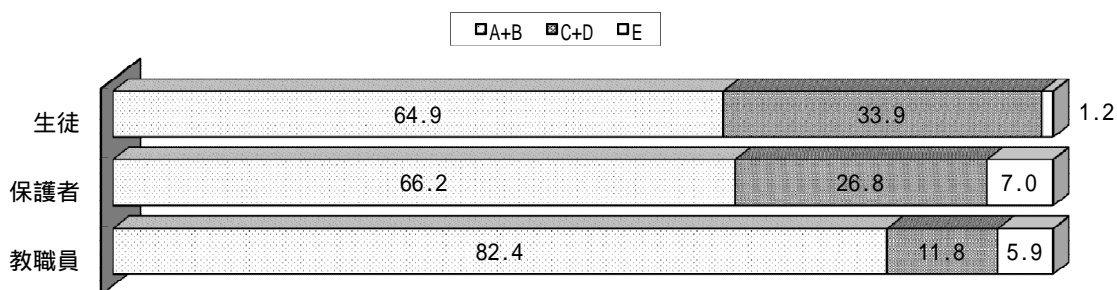
各学校とも評価方法等の研究が進められ、適切な学習評価、保護者にとって分かりやすい通知表のあり方等の追及が成果に表れていると考える。

8. 学校の進路指導について

生徒 授業等で将来の進路や生き方について考える機会がある。

保護者 学校は、学年に応じて進路や生き方について考えられるような進路指導を行ってくれている。

教職員 この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導(キャリア教育)を行っている。

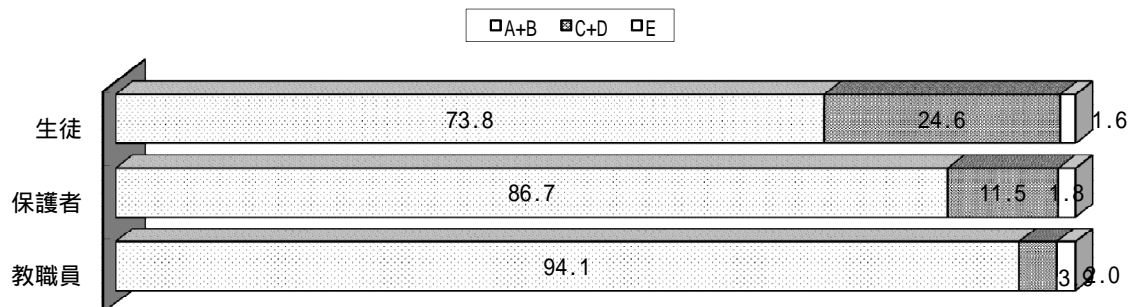


〔分析〕

3日間の職場体験学習をはじめ、キャリア教育に係る指導を生徒の発達段階に応じて、1年時より系統的な進路指導を進めている。また、府立高校の再編整備や私立高校等の情報提供も生徒、保護者に対し丁寧におこなっていることで、概ね肯定的にとらえられているが、一人ひとりの生徒に応じたよりきめの細かい進路指導が求められている。

9. 保護者や地域との連携について

- 生徒 授業や学校行事、部活動に保護者や地域の方がよく協力してくれている。
- 保護者 学校は、保護者や地域の人たちに授業を公開したり、つながりを深める機会を多く設けている。
- 教職員 この学校は、さまざまな学校教育活動に対し保護者や地域の方がたの協力や連携が図られるよう努めている。

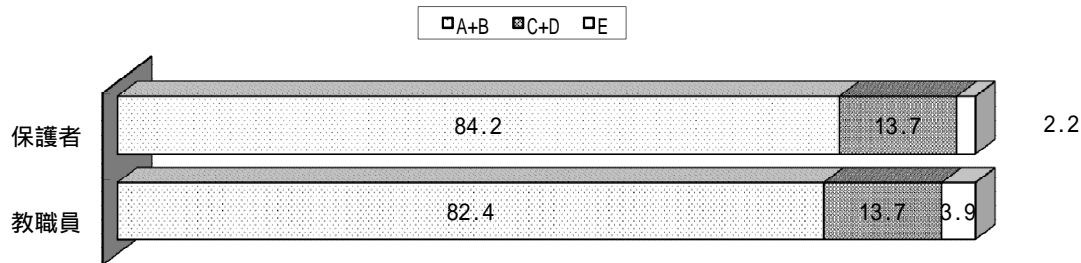


〔分析〕

各学校とも地域に開かれた学校づくりを進める中で、学校協議会や学校支援地域本部とも連携を図りながら、学校と保護者、地域が一体となった教育活動(地域人材による学習支援、部活動援、職場体験や福祉体験等の協力)が展開できている。

10. 学校の情報発信について

- 保護者 学校便りや学年便りなどで配布されるプリントや学校のHPで学校のことがよくわかる。
- 教職員 学校では危機対応や教育活動の情報も含め、保護者や地域に対して情報発信を心がけている。



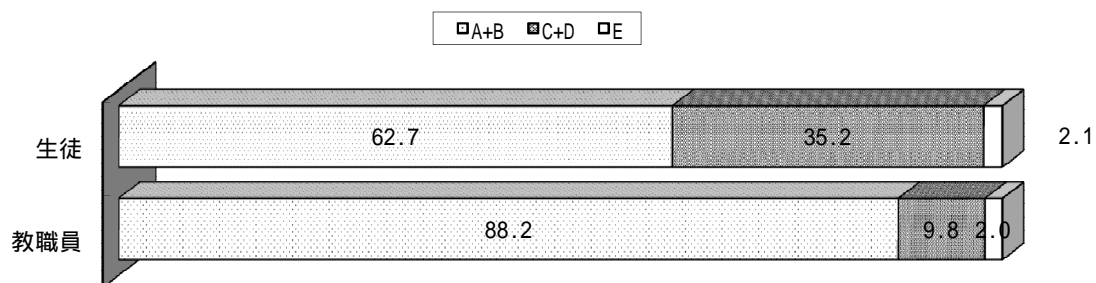
〔分析〕

各学校とも自校の教育活動の内容を広く保護者や地域住民に発信することに努めている。その周知についても、多くの保護者から肯定的な回答を得ていることで良好であると考えられる。

11. 学校図書館教育について

生徒 学校の図書館は利用しやすい。

教職員 この学校では、生徒が図書館を利用しやすいように整備がされている。



[分析]

各学校の図書館は、室内環境や蔵書の整備等が進められてきているが、生徒が常時利用しやすい状況にするために、地域ボランティアの活用や図書委員会活動の充実等、学校全体での組織的な取組みを進めることが求められている。

下線部分は文言の変更又は、新しく加えたものです。